

スマート農業による安定的な生産・販売を実現 (みのるファーム株式会社)

＜法人の概要＞

所在地：徳島県名西郡石井町

設 立：平成 29 年 4 月

資本金：800 万円 売上高：5200 万円（令和 3 年）

構成員（議決権）：みのる産業（49％）、農地の権利提供者 5 名（51％）

役 員：5 名（うち農作業従事 1 名）

従業員数：常時雇用者 4 名、臨時雇用者 10 名

経営面積：80a

営農作物：ミニトマト

農業開始時期：平成 30 年 3 月（※みのる産業 HP より）

作付作物：ミニトマト 54a

機械化・省力化に合わせた長方形のハウス



生産されたミニトマト



＜農業参入（法人設立）に至った経緯・動機 農地取得など＞

農機具の製造・販売を行っているみのる産業株式会社（岡山県赤磐市）が自社製造の機械・装備を活用した効率的なミニトマトの施設栽培を構築することを目的に平成 29 年 4 月に「みのるファーム株式会社」を設立し、徳島県が誘致していたとくしまアグリサイエンスゾーンで農地を借り受け農業参入に至った。

※とくしまアグリサイエンスゾーンは徳島県と徳島大学が民間事業者のノウハウを活用し、産学官連携でスマート農業などの次世代型農業の研究及び次代を担う人材育成を推進するため、形成したオープンイノベーション

＜営農開始から現在まで～関係機関との連携による取組の実証＞

平成 29 年 5 月に徳島大学、徳島県、石井町、みのる産業（親会社）とみのるファームの 5 者による「徳島県農業の成長化及び関連産業の振興に関する協定」を締結し、徳島大学が保有する最新の農業技術とみのる産業が開発した農業機械を導入した高度環境制御型園芸施設によるミニトマト栽培を開始した。

＜営農開始から現在まで～スマート農業の実証による経営発展＞

生育について、作業の機械化・省力化による効率化を図るとともに、ほ場を遠隔監視することにより、安全・安心なミニトマトの生産・販売を行っている。

ミニトマトは、ハウス内の光、温・湿度、CO₂を適正にコントロールする「高度環境制御システム」と親会社が開発した省力化機械の導入並びに生育過程の農作業について全て遠隔監視を行うことにより、25t／10a、150t／月の収穫量を実現しており、8月上旬に定植し翌年7月上旬まで収穫している。

また、従業員の作業記録を手書きからタブレットで記録することにより、265時間／10aの作業時間の削減を達成するなど日曜日の休日化を実現した。

収穫したミニトマトは、地元の道の駅の他、三井物産を通してH₂Oグループに販売しており、京阪神地域の小売店舗（イズミヤ・阪急オアシス）で販売している。

取引先とは常に売上データを共有できるシステムになっており、出荷調整や販売ロスに貢献している。

また、GAPを取得することで出荷している作物が、GAP基準で生産していることの証明となり、安定的な取引に繋がっている。



防除ロボット



高所作業車



給液装置

＜今後、農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞

農外から参入する企業は、農業が長いスパンでゆっくり流れているという錯覚があるため、機会があれば参入するが、参入後になって改めて、生産技術・農地管理・水利関係等、農業は難しいと気づく。

参入企業が困ったときに、行政機関等のフォローが大事である。